

第 22 回 RAMP シンポジウム

日時: 2010 年 10 月 28 日 (木), 29 日 (金) 9:20 - 16:50

場所: 名古屋大学 豊田講堂 シンポジオンホール

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 地下鉄名城線 名古屋大学駅 2 番出口から徒歩 3 分

シンポジウム趣旨

RAMP シンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会 (RAMP: Research Association of Mathematical Programming) によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。本年度も以下の通り開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

10 月 28 日 (木)

9:20 - 9:30 開会挨拶

9:30 - 12:20 セッション 1 「離散構造とアルゴリズムの最先端」

オーガナイザ: 加藤 直樹 (京都大学)

講演 1 「解の遷移可能性問題の計算複雑さ」伊藤 健洋 (東北大学)

講演 2 「点素パス問題に対するアルゴリズム」小林 佑輔 (東京大学)

講演 3 「構造物の組合せ剛性: 計数条件とグラフ分割」谷川 眞一 (京都大学)

13:50 - 16:50 セッション 2 「ハイパフォーマンスコンピューティング」

オーガナイザ: 張 紹良 (名古屋大学)

講演 1 「大規模固有値問題と高性能計算」山本 有作 (神戸大学)

講演 2 「自動チューニングの数理モデルと最適化」須田 礼仁 (東京大学)

講演 3 「GPGPU による大規模流体シミュレーションのスケラビリティ」青木 尊之 (東京工業大学)

10 月 29 日 (金)

9:20 - 12:20 セッション 3 「連続最適化の挑戦」

オーガナイザ: 久野 誉人 (筑波大学)

講演 1 「半正定値計画と面的縮小」脇 隼人 (電気通信大学)

講演 2 「代数的対称性を利用した半正定値計画法の前処理」前原 貴憲, 室田 一雄 (東京大学)

講演 3 「無限次元変分解析の理論とオンラインアルゴリズムにおける応用例」関口 良行 (東京海洋大学)

講演 4 「ステレオ画像計測に現れる非線形最適化問題とその大域的最適解の計算法」檀 寛成 (関西大学)

13:50 - 16:50 セッション 4 「工学における逆問題の周辺」

オーガナイザ: 松本 敏郎 (名古屋大学)

講演 1 「実問題への逆解析の応用」天谷 賢治 (東京工業大学)

講演 2 「逆問題解析とこれを用いた能動型および受動型電気ポテンシャル CT 法」

久保 司郎 (大阪大学), 阪上 隆英 (神戸大学), 井岡 誠司 (大阪大学)

講演 3 「多倍長計算による非適切問題の大規模高精度計算の実現に向けて」藤原 宏志 (京都大学)

講演 4 「不連続線推定問題の囲い込み法に基づく数値解法について」大江 貴司 (岡山理科大学)

参加費・申し込み方法・問い合わせ先

参加費: 一般 5000 円 (事前振込), 7000 円 (当日払い), 学生 2000 円 (事前振込), 3000 円 (当日払い)

懇親会: 28 日 (木) のシンポジウム終了後懇親会を開催いたします。

準備の都合上, シンポジウム参加費および懇親会費の事前振込に是非ご協力下さい (10 月 15 日 (金) 締切)。

事前振込や懇親会申し込み方法などについてより詳しくは <http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=629> をご覧下さい。

実行委員長: 田地 宏一 (名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻)

問い合わせ先: 第 22 回 RAMP シンポジウム実行委員会事務局 ramp2010@al.cm.is.nagoya-u.ac.jp